

久松台学区(町・地区)まちづくり推進委員会

委員長 内田 亮

(問合せ先) 084-921-7372 (久松台交流館)

事業内容

1. ふれあい事業

- (1) サマーフェスタ (8月24日)
- (2) 文化祭 (11月2日・11月3日)
- (3) とんど祭り (1月19日)
- (4) 子育て支援 (月2回) 子ども文庫 (毎週)
- (5) 子ども教室 (月1回)
- (6) 学区花壇整備 (通年)
- (7) しめ縄作り (12月24日・12月25日)
みそ作り (3月5日・3月6日)
- (8) 福祉サロン活動 (月2回)
- (9) デジタル化推進 (6月15日・3月1日)

2. 安心・安全事業

- (1) 防火・防災事業 (11月24日)
- (2) 防犯事業
各町内会防犯パトロール (通年)
スクールサポートボランティア (毎日)
あいさつ運動 (月1回)

3. コミュニティ育成事業

4. まちづくり推進委員会運営事業

まちづくり推進委員会 (月1回)

サマーフェスタ



タイムカプセル掘り起こしセレモニー

サマーフェスタ スマイル合唱団



文化祭 子ども銭太鼓

しめ縄作り



子ども文庫 音楽会

成果

様々な行事に多くの方が参加された。

行事に参加することで顔見知りが増え地域の方と触れあい交流できた。

課題

地域の高齢化や町内会加入世帯の減少などにより、住民同士の交流が減っている。地域や伝統行事に関心を持つよう学生や子育て層などの若い世代が参加しやすい環境を整える必要がある。

課題解決にむけて

地域の活動や伝統行事を多くの人に知ってもらえるように学区オープンチャットを活用し、広く情報を発信していきたい。地域住民がつながっていくことで地域コミュニティの活性化につなげたい。意見交換の機会を作り、地域のニーズや住民の興味を把握し、まちづくり事業に生かしていきたい。

久松台学区防災訓練 ～支え合える地域をめざして～

学区防災訓練 11月24日(日) 9:00～

想定 南海トラフ地震 M9.1が発生 市内最大震度6強 津波警報発令

★家庭で行う訓練

①家内で安全確認・身を守る行動
非常持ち出し品、 緊急カードを用意

黄色いハンカチを玄関などに掲示



緊急連絡カードと黄色いハンカチが入っている容器を冷蔵庫から出して使用する

②避難開始

近所の安全確認・避難行動要支援者の支援
避難場所に避難、集合



車椅子を使って避難

★各町内会の訓練

- ①組長・班長は各家庭の安否確認（黄色いハンカチ掲示を確認）をして町内会へ連絡
- ②各町内会で避難状況を確認・集計し学区対策本部に連絡

★学区対策本部

- ①各町内会の連絡を受けて避難状況を確認・集計・要支援者の把握
- ②交通誘導・避難誘導・避難者受け入れ管理・避難者介護

学区のオープンチャットを活用し、今年度は避難の様子や避難経路などの写真や状況を投稿し共有した。

防災講演会 10:30～

テーマ「能登半島地震被災者支援活動を通じて」



講演会の様子

被災者や被害状況・避難所の様子などを聞くことで
防災意識が高まった。

- ・災害発生時の対応や備蓄品・防災グッズなど
日ごろの備えが大切
- ・地震で避難所に行った時の過ごし方や心得
- ・地域住民のコミュニケーションを深め、
情報交換やお互いに助け合う

段ボールベッドは簡単
に組み立てられたよ！
乗っても丈夫！

体験訓練 11:00～

AED講習会・心肺蘇生法



北消防署の職員の方々に協力いただきました

簡易テントや段ボールベッドの体験

